

決算説明会資料

2023年9月期 通期

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）
2023年11月9日



目次

- 1 2023年9月期 通期業績概要**
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて

1 2023年9月期 4Qサマリー

売上高

523 百万円
(前四半期：501百万円)

営業利益

▲47 百万円
(前四半期：▲26百万円)

当期純利益

▲55 百万円
(前四半期：▲23百万円)

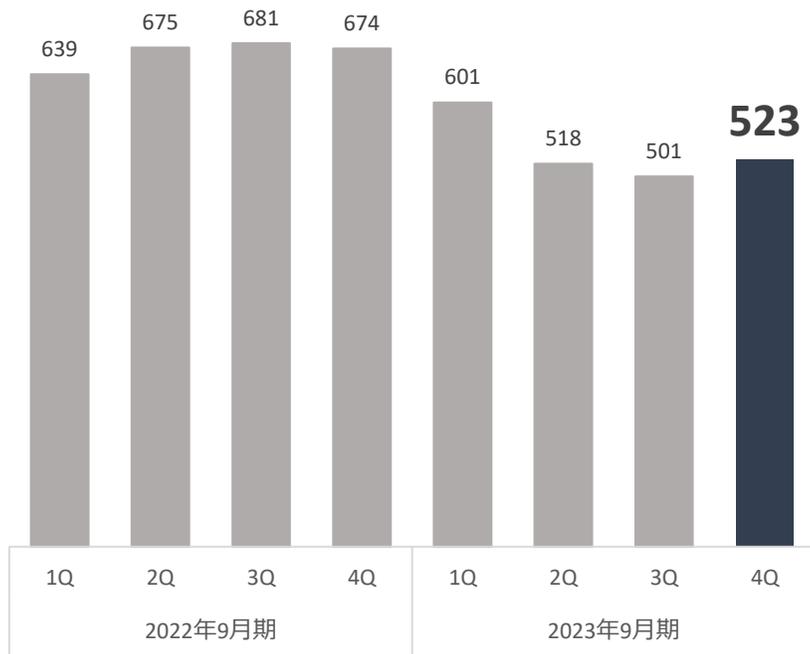
□ 事業概況

- ・ 広告事業のアドネットワークサービス「ADroute」は、新規取引先や広告枠の獲得にて徐々に売上高を回復
- ・ 第2四半期より開発が本格化しているAIを活用した新たな広告プラットフォームに関しては、現在最終フェーズであり、計画通りに開発を進行
- ・ 2023年9月より、新たにトレーディングカード事業を開始し業績へ寄与
- ・ ブロックチェーン関連事業において、経営資源の選択と集中により、BCゲームの配信権の譲渡やサービス終了に向けた対応を開始

1 業績の四半期推移

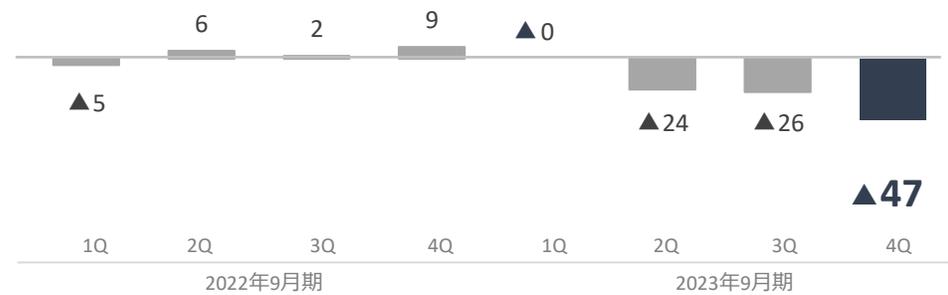
当第4四半期よりトレーディングカード事業が業績に寄与し、広告事業も堅調に推移しQonQ比で増収
 第2四半期より本格化した広告事業の新しい広告プラットフォーム開発による先行投資を継続

売上高

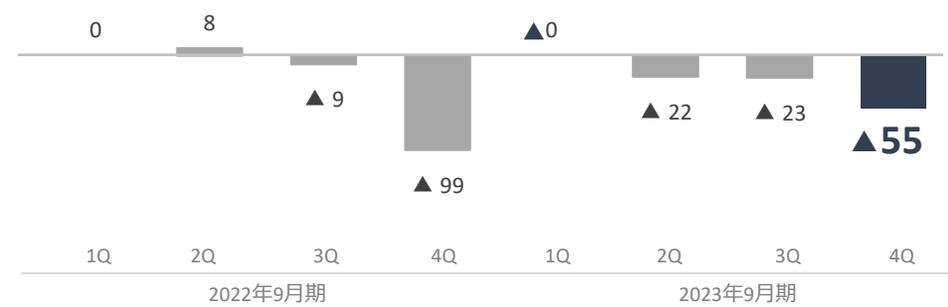


営業利益

単位：百万円



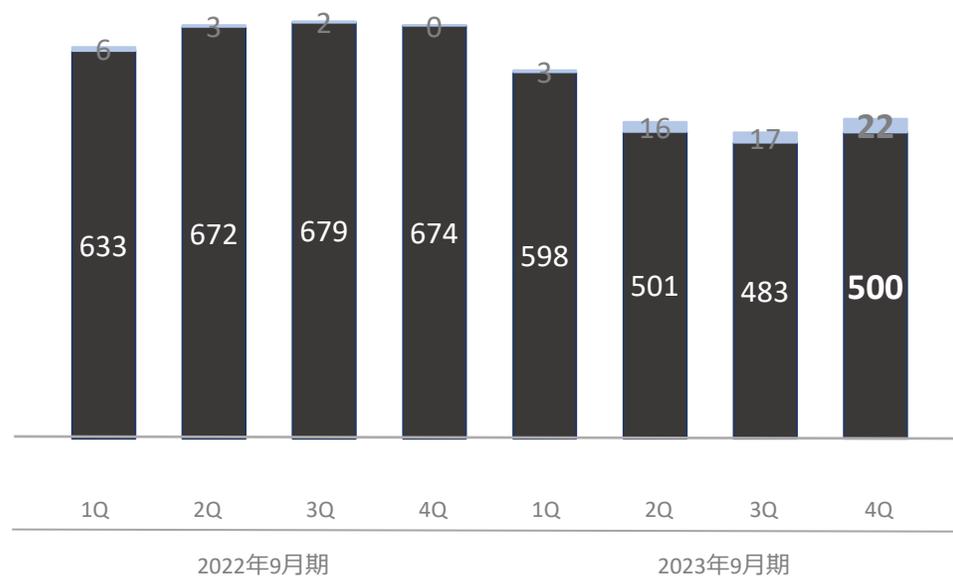
当期純利益



1 セグメント別の四半期推移

広告事業は、アドネットワークサービス「ADroute」の復調により売上が回復傾向、
 その他事業は、トレーディングカード事業が業績に寄与し増収も、
 BCゲームの配信権の譲渡、サービス終了に向けた対応により一時的な損失が拡大

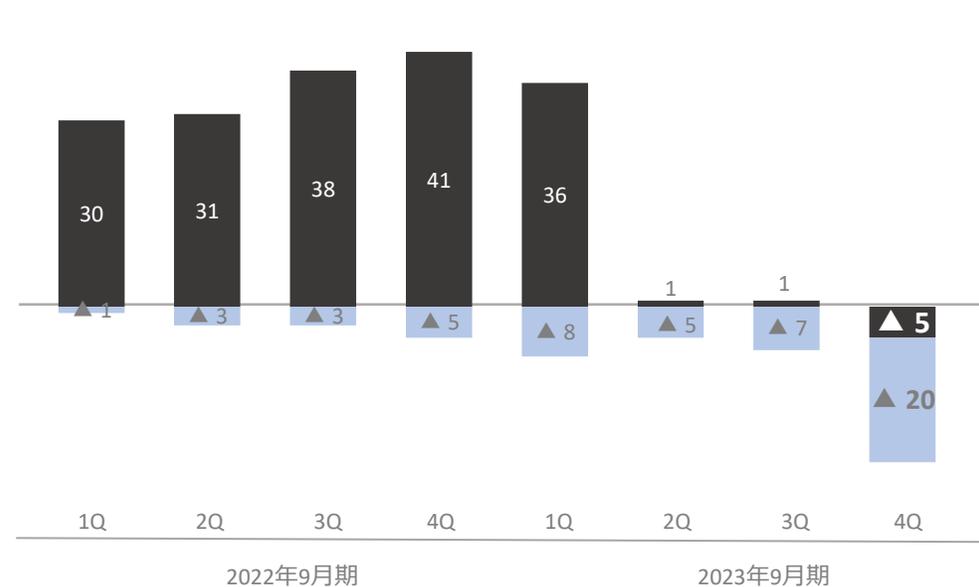
セグメント別売上高



■ 広告事業 ■ その他

セグメント別利益

単位：百万円



■ 広告事業 ■ その他

1 損益計算書四半期推移

当事業年度は中長期的な事業成長のための投資期と捉えており、第2四半期以降投資が本格化
BCゲームの配信権の譲渡による一部費用を特別損失として計上したほか、同関連費用が一時的に増加

単位：百万円

	当期			当期	QonQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	差異
売上高	601	518	501	523	+22
売上原価	523	467	447	484	+37
売上総利益	77	50	54	38	▲16
販売費及び一般管理費	78	75	80	86	+6
営業利益	▲0	▲24	▲26	▲47	▲21
営業外収益	0	5	1	0	▲1
営業外費用	2	3	0	2	+2
経常利益	▲1	▲23	▲24	▲50	▲26
特別利益	1	1	0	1	+1
特別損失	-	-	-	6	+6
税引前当期純利益	▲0	▲22	▲23	▲54	▲31
法人税等	0	0	0	0	-
当期純利益	▲0	▲22	▲23	▲55	▲32

1 損益計算書概要（通期比較）

前期は2期連続の通期営業黒字を達成も、更なる成長のため、当事業年度は中長期的な事業成長のための投資期と捉え、大規模な投資を実行

単位：百万円

	2022年9月期 通期実績	2023年9月期 通期実績	YoY 差異
売上高	2,671	2,144	▲527
売上原価	2,353	1,923	▲430
売上総利益	318	221	▲97
販売管理費	304	320	+16
営業利益	13	▲98	▲111
営業外収益	4	4	▲0
営業外費用	7	6	▲1
経常利益	10	▲100	▲110
特別利益	3	5	+2
特別損失	109	6	▲103
税引前当期純利益	▲95	▲101	▲6
法人税等	4	0	▲4
当期純利益	▲100	▲102	▲2

1 貸借対照表概要

広告事業のシステム開発投資により、無形固定資産が増加、
トレーディングカード事業開始にかかる投資のため、その他の資産が増加、
引き続き財務の健全性を維持

単位：百万円

	2022年 9月期 4Q末	2023年 9月期 4Q末
流動資産	1,476	1,182
現金及び預金	1,240	906
売掛金	198	188
その他	37	88
固定資産	84	240
有形固定資産	13	11
無形固定資産	1	99
投資その他の資産	69	129
資産合計	1,560	1,422
自己資本比率	59.5%	59.6%

	2022年 9月期 4Q末	2023年 9月期 4Q末
流動負債	246	211
買掛金	175	162
その他	71	49
固定負債	378	356
転換社債型新株予約権付社債	378	356
負債合計	625	568
資本金等	1,025	946
利益剰余金	▲100	▲102
新株予約権	5	6
その他	4	2
純資産等合計	935	854
負債・純資産等合計	1,560	1,422

目次

- 1 2023年9月期 通期業績概要
- 2 各事業の状況**
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針 & 見通しについて

2 2023年9月期 各事業の取り組み

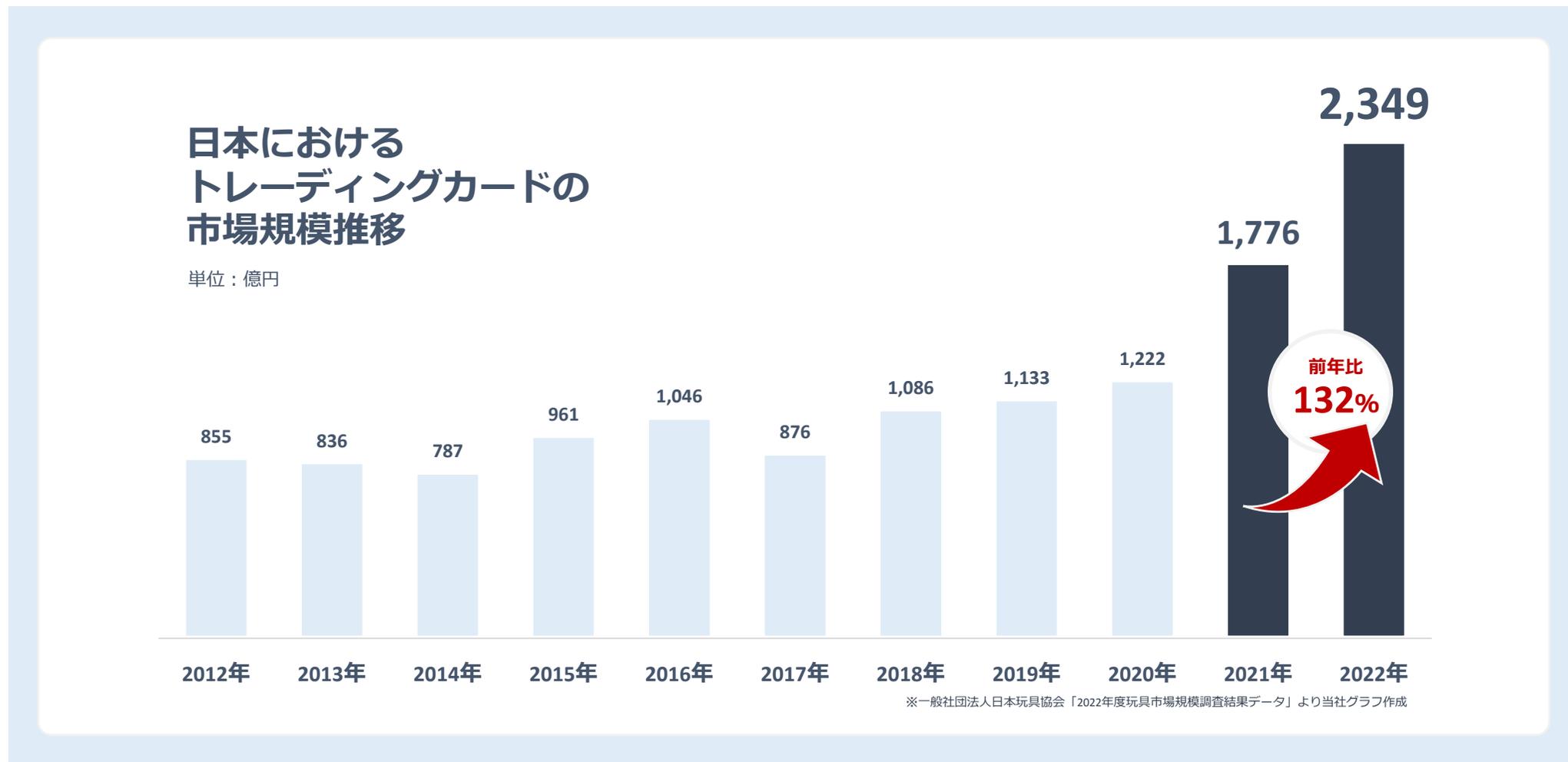
その他事業
トレーディング
カード事業

広告事業

その他事業
IoTヘルスケア
事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

2 トレーディングカード事業 市場状況

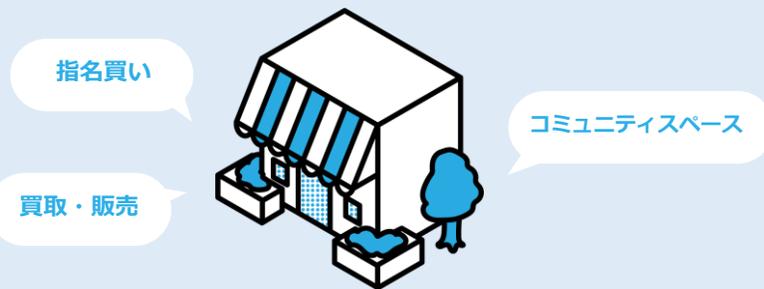


トレーディングカード市場は **2,349** 億円（前年比**132%**）と**大幅に拡大**をしている。

2 トレーディングカード事業 市場の変化（市場拡大）

一次流通(新品)のほか、二次流通(中古品)に関して市場が活発化しており、近年、二次流通においては、店舗型に加えて、自動販売機型による販売も増えている。

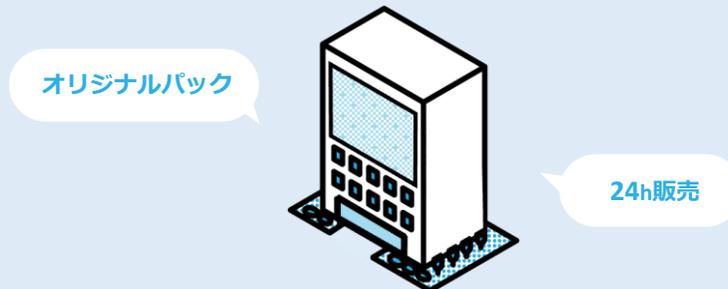
店舗型販売



店舗を構え、トレカの買取、販売を行っており、ユーザーは1枚単位で指名買いすることもできる。ユーザーのコミュニティスペースにもなっていて市場の拡大にも役立っている。

ただし、営業時間内での販売、店舗維持管理コストの発生、販売場所の限定など制限・課題を抱えている。

自動販売機型販売



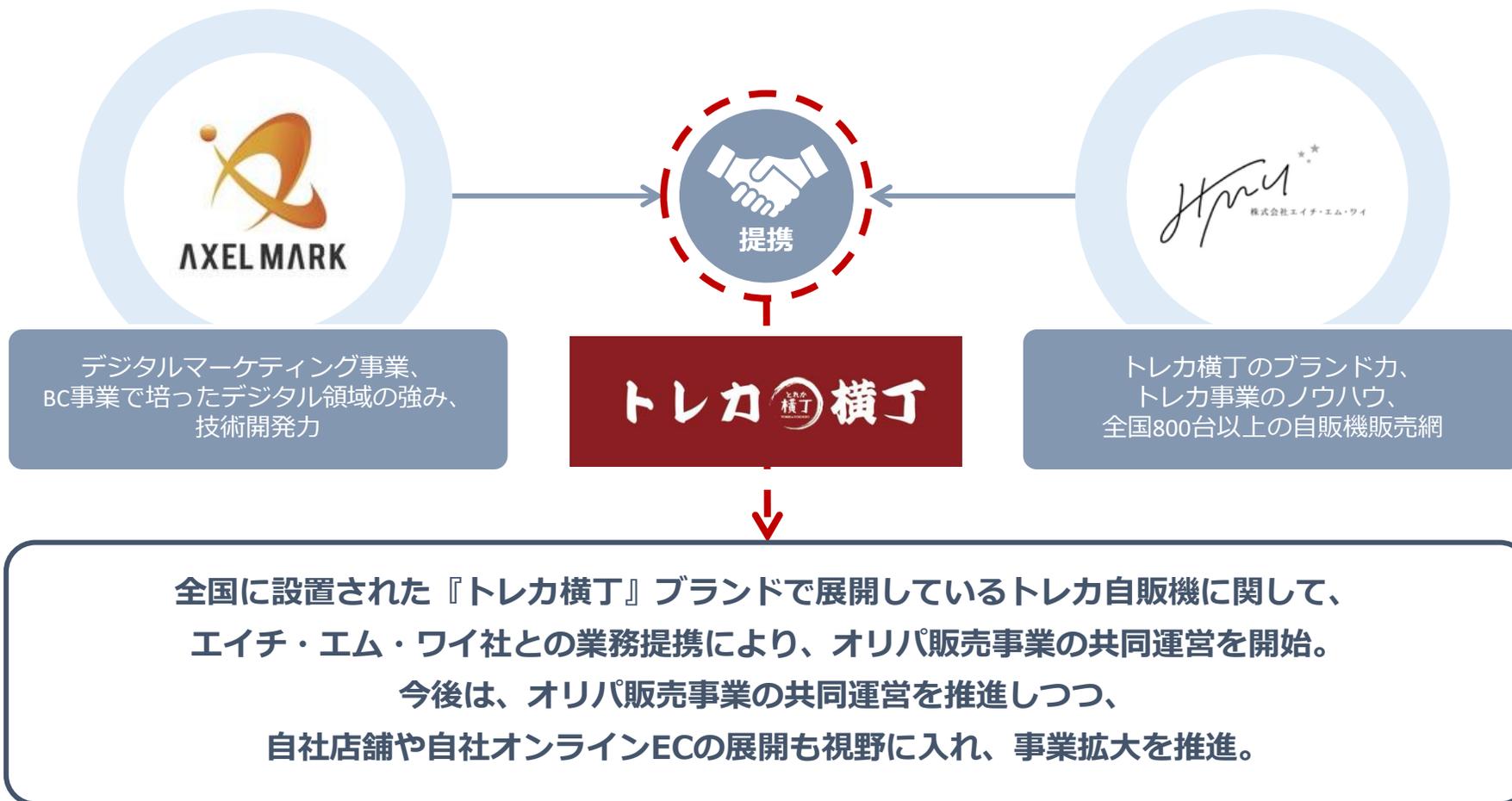
ユーザーから買い取ったトレカを用いたオリパを自動販売機にて販売を行っており、ユーザーにとってはパック開封と同様の楽しみがある。

店舗型販売とは異なり、販売時間、場所を選ばず設置販売することができる。

※オリパとは・・・
ユーザーから買い取ったトレカを用いたオリジナルパックの略称

2 トレーディングカード事業 事業内容

トレカ横丁を運営しているエイチ・エム・ワイ社と業務提携し、2023年9月、新規事業としてトレーディングカード事業を開始



2 2023年9月期 各事業の取り組み



その他事業
トレーディング
カード事業

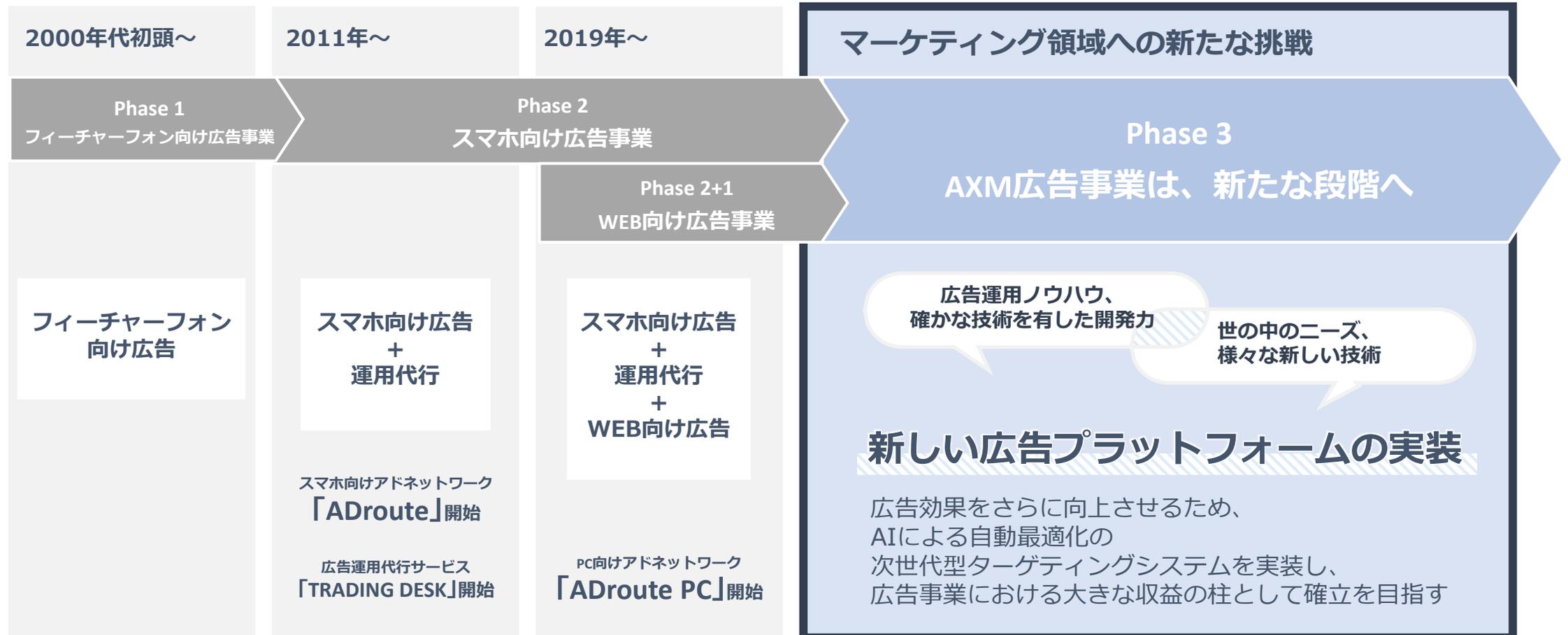
広告事業

その他事業
IoTヘルスケア事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

2 広告事業 今までの経緯～今後

2000年代初頭にフィーチャーフォン向け広告を対象とした事業に参入、時代やクライアントのニーズを汲み取り、既存のノウハウと様々な技術をかけあわせて事業拡大を推進



『デジタル領域におけるイノベーションの推進』

デジタル領域に常にアンテナを張り、革新的なサービスを提供し続ける



● AI(人工知能)技術の活用

- ・次世代型ターゲティングシステムを搭載したエンジンの開発
- ・自社開発のAIや、OpenAI等に代表される「生成系AI」を活用した精度の高い広告配信システムの開発

● ブロックチェーン領域 × 広告

- ・ブロックチェーン領域での広告配信
- ・ブロックチェーン技術を活用した透明性の高い広告配信システムの検討

広告運用ノウハウ & 確かな技術を有した開発力

AI技術を活用し、より高精度なターゲティング広告の提供。
ユーザーのプライバシー保護に配慮した広告配信システムを構築、かつ、透明性の高い広告配信を実現。

2 広告事業 新広告配信プラットフォーム



AI(人工知能)を活用した新たな広告配信プラットフォームとして、
「AXEL MARK DSP」(ADSP) を提供予定

AXEL MARK DSP
広告はいこれまでの枠にとらわれず未来へ
**AI技術が導く
進化の一手**
Advertising goes beyond the traditional framework
and moves into the future.
A move of evolution led by AI technology.

AI(人工知能)を活用した
次世代型ターゲティング
システム搭載の自社開発DSP

アドネットワーク領域で
10年以上にわたり蓄積された
膨大なデータと、
最新のAI技術の組み合わせにより
最適な広告効果を実現。

※DSP・・・Demand-Side Platformの略称で、広告主・広告代理店のプラットフォーム

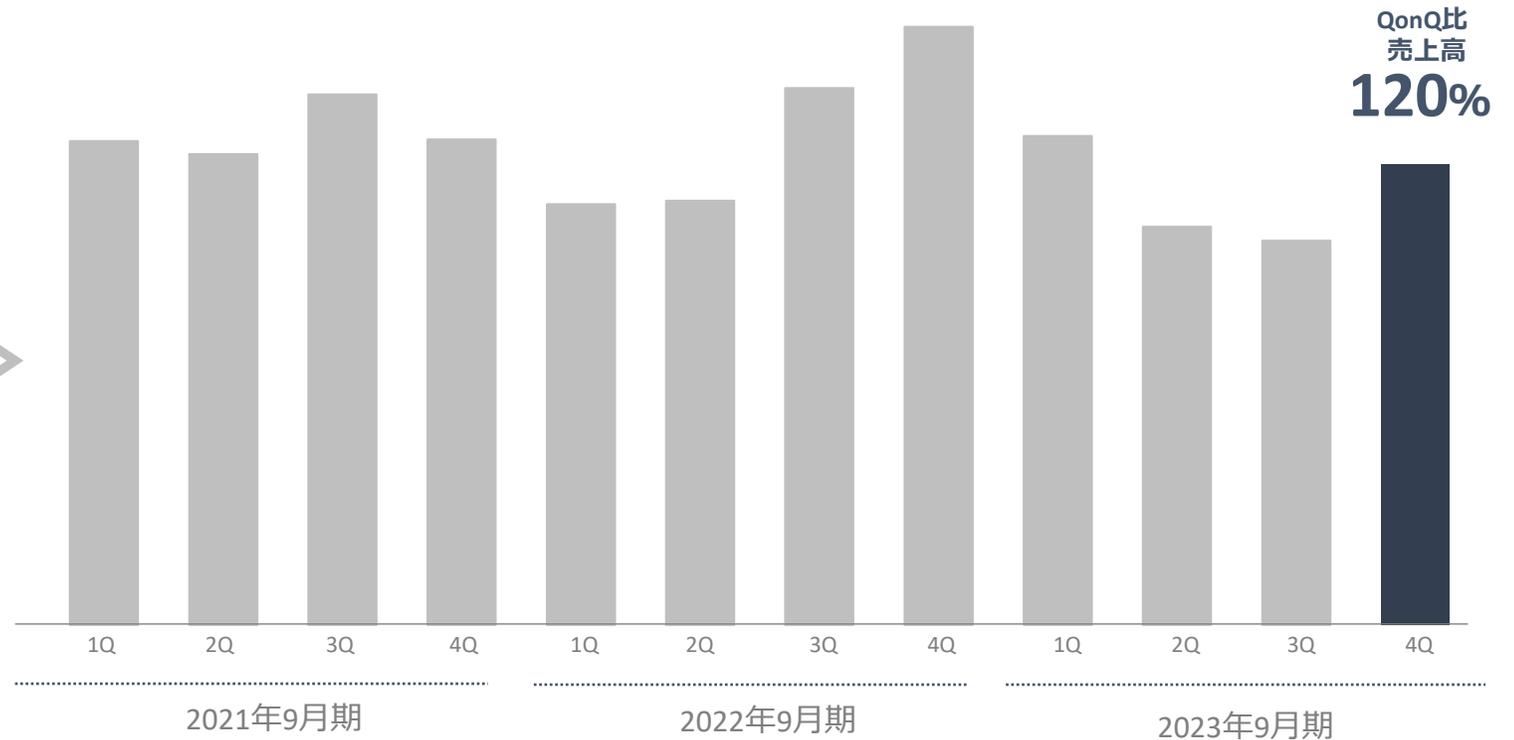
2 広告事業 「アドネットワーク」領域 サービス状況

昨年までのコロナ禍による巣ごもり需要も一段落し、コロナ特需の反動がありつつ、新規取引先や広告枠の獲得にて徐々に売上を回復

アドネットワーク

● ADroute

良質な広告をお届けする
月間200億impを超える
アドネットワークサービス



2 広告事業 「デジタルマーケティング」領域 サービス状況

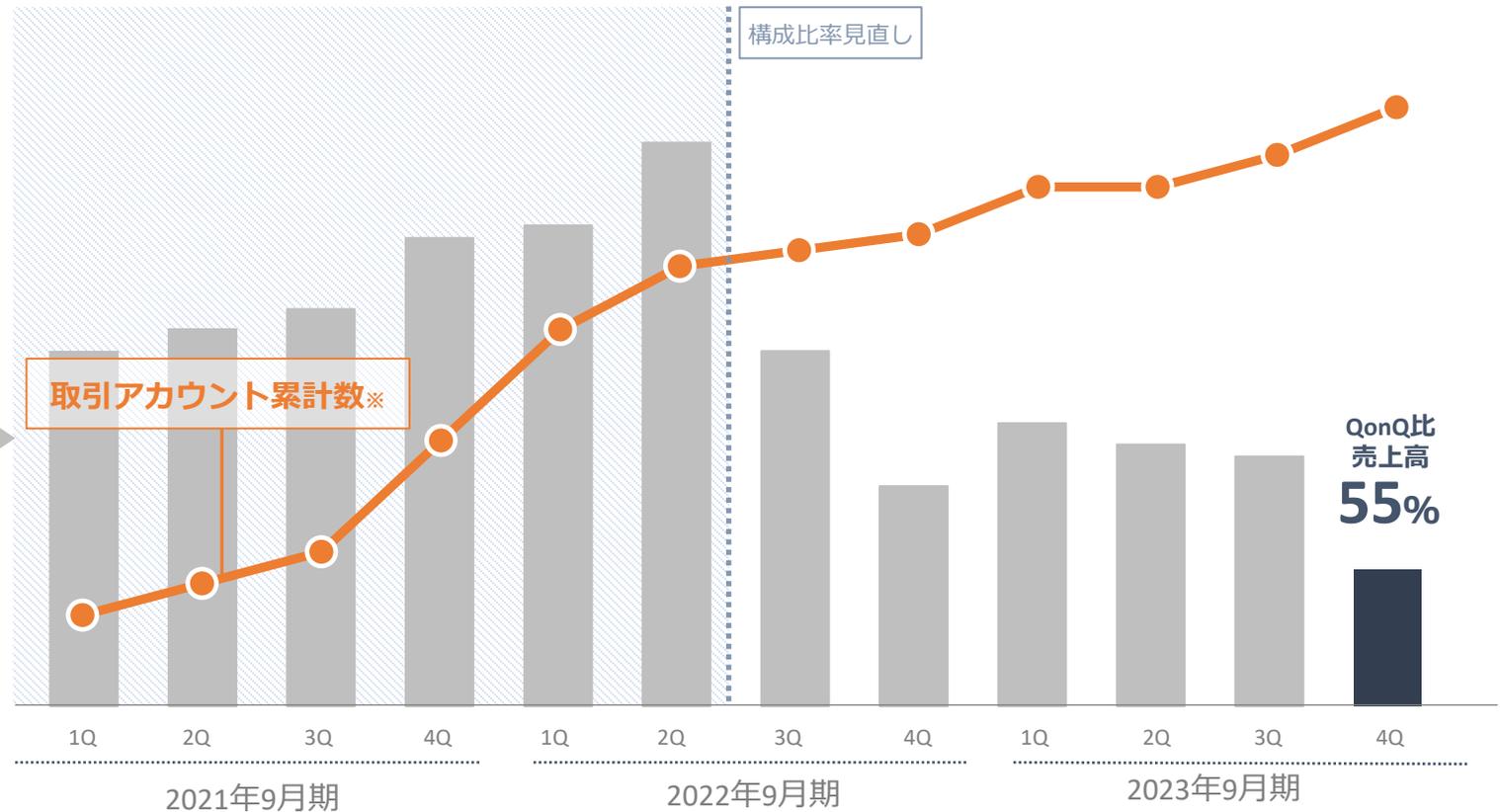


コロナ禍を経て経済活動の再開に伴う需要動向の変化、市況感による停滞もあり売上減少
 今後の対策として、組織体制の強化およびサービスメニューの強化を実行し、
 事業の再成長に注力

デジタルマーケティング領域

● TRADING DESK

広告運用代行および
eコマース販売促進サービス



2 2023年9月期 各事業の取り組み



その他事業
トレーディング
カード事業

広告事業

その他事業
IoTヘルスケア
事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

2 IoTヘルスケア事業 ヘルスケアの取り組み内容

3社の強みを活かして、ベンチャー企業の新規技術を評価し、有望な技術・製品のバリューチェーンを構築する事業開発型のビジネスモデル



Ascella Biosystems, Inc.との取組みを推進。
分子診断技術を用いた感染症の迅速診断法「Ascella Real Time System」の早期実用化を目指す。
その他の案件についても調整中。

2 IoTヘルスケア事業 積雪深自動モニタリングシステム YUKIMI



新たに山形県、石川県の2自治体へ導入決定。
内閣府が実施する「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用し、
YUKIMIを通じて地域創生に貢献する。

山形県内自治体の積雪監視システム構築業務を
東日本電信電話株式会社 山形支店と共同受注

「やまがたITソリューションEXPO2023」NTT東日本の
防災DXソリューションにてYUKIMIの体験コーナー
および実機を展示（2023年11月7日開催）

石川県内の自治体で
今冬より導入開始予定

積雪深自動モニタリングシステム

YUKIMI



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

2 2023年9月期 各事業の取り組み

その他事業
トレーディング
カード事業

広告事業

その他事業
IoTヘルスケア
事業

その他事業
ブロックチェーン
関連事業

2 ブロックチェーン関連事業 今までの経緯～今後

ブロックチェーンゲーム単体での収益化を目指していたが、現状の収益性の低さ、将来的な見込みを考慮し、ビジネスモデルの再構築を図る。



経営資源の選択と集中により、BCゲームの配信権の譲渡やサービス終了に向けた対応を開始。
 なお、当社はBCゲームの運営実績、暗号資産取扱い実績等のノウハウを保有しており、
 BC技術の潜在的な可能性と、既存事業との組み合わせによるシナジーを図り、当社独自のBC関連事業を構築する。

目次

- 1 2023年9月期通期業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想**
- 4 今後の方針 & 見通しについて

3 2024年9月期 業績予想

中長期の事業拡大のための投資を継続しつつ、
 広告事業の新プラットフォーム「AXEL MARK DSP」のサービス開始、
 および、新規事業のトレーディングカード事業による数字を見込む。

単位：百万円

	2023年9月期 通期 実績	2024年9月期 通期 予想	YoY 差異
売上高	2,144	3,000	+856
営業利益	▲98	1	+99
経常利益	▲100	1	+101
当期純利益	▲102	1	+103

目次

- 1 2023年9月期通期業績概要
- 2 各事業の状況
- 3 2024年9月期 業績予想
- 4 今後の方針&見通しについて**

全社

中長期的な経営基盤の安定化を実現するために、
「事業規模拡大への投資」と「人材・働く環境への投資」を積極的に行う

広告事業

引き続き収益事業として事業拡大を推進

1. 営業力の強化

- ・スペシャリストの積極採用による競争力の強化
- ・事業スピードを重視した組織体制への改変

2. 新規広告プロダクトの投入

- ・AIを活用した広告プラットフォーム「AXEL MARK DSP」の提供開始
- ・継続的な新規プロダクトのR&Dの推進

BC関連事業

ビジネスモデルの再構築を行い、
既存事業とのシナジーを図る

トレーディングカード事業

アナログからデジタルまで一気通貫で事業を推進し、
加速度的な事業拡大を図る

IoTヘルスケア事業

1. ヘルスケア事業

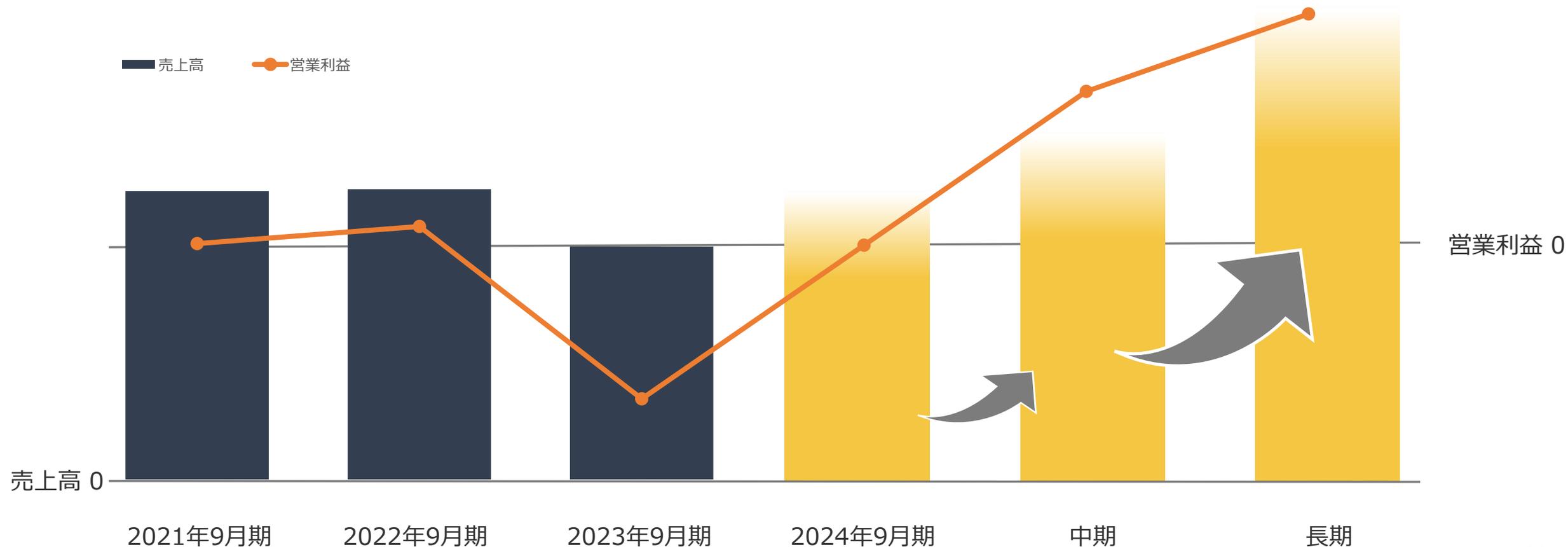
パートナー企業各社とともに、
ヘルスケア領域における各種取り組みを進め、
早期の事業化を行う

2. YUKIMI事業

採用自治体数の大幅増を実現させる

4 今後の見通しについて

今後も積極的に投資を行いつつ、中長期での事業成長・拡大を見込む
 売上規模の拡大とともに、利益率向上を経営課題として取り組み、
 将来的に強固な利益体質を構築していく



「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>